

# 桐が谷通信

CHUBU GAKUIN UNIVERSITY  
CHUBU GAKUIN COLLEGE

第 6 6 号

2 0 2 2 年 1 2 月 5 日

発行 中部学院大学 宗教委員会  
中部学院大学短期大学部

〒501-3993  
岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL (0575) 24-2211

【ルカによる福音書 2：8～16】

(とりわけ 11-12 節「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシア（救い主）である。あなたがたは……（略）。

## クリスマスをお祝いできない人のためのクリスマス

西川 幸作（日本基督教団 中濃教会 牧師）



「1年で一番楽しい時はいつですか？」と質問に、「クリスマス!」、「お正月!」とお子さんならば答えるでしょう。

多くのお子さんは、クリスマスには美味しいケーキを食べられてプレゼントをもらって、お正月にはお年玉をもらえるから、との理由でそれらの日を楽しんでいるのだと感じています。また同様に多くの大人も楽しいと感じていることでしょう。

けれども実はわたしたちの身近なところで、「1年で一番辛い時期はいつですか？」との質問に「クリスマスです」、「お正月です」と答えなければならない人々がいるのも現実です。

以前、わたくしは、自死遺族の集いというものにスタッフとして関わらせていただいていた。この集いは家族や親しい人を自死（自殺）で亡くした遺族当事者が数人集まって語り合うもので毎月1回開催されていました。

ある年の11月に開催された集いでこの様な場面がありました。

もうすぐクリスマスを迎えるということで、その話題になったのです。ある遺族が「これからのクリスマスとお正月の季節は一年で一番辛いです」と言われました。さらに他の何人かの

遺族もそれに頷いて答えていました。わたくしはキリスト教会の牧師という立場でもありましたので、クリスマスがくることを楽しみに思っていました。そのとき、自分のその思いが間違っていないかと疑ってしまうほど、動揺したのです。

「世間が一番盛り上がっている時に、自分は一番辛い。なのでクリスマスやお正月を楽しめないのです」という遺族の話。これは愛する人と一緒にクリスマスやお正月を楽しく過ごしたけれども、今はもうその人はいないので楽しく過ごせない。もしくは愛する人と共に楽しく過ごしてきた思い出が、自死という出来事によって全く違うものになってしまった。このような理由からと想像します。また、そもそも世間に溢れている様々な楽しいこと自体に楽しみを見出せなくなった、という理由もあると考えます。

自死遺族の支援などを特集したある本の中で、一人の遺族は愛する家族の自死を経験した後、しばらく抜け殻のように呆然と立ち竦（すく）んで一歩も前に歩けない状態であったと記されています。

クリスマスはイエス・キリスト、救い主イエス様の誕生日とされ、祝われ続けてきました。もちろんこの日をキリスト教会はお祝いし、世界の多くの地域で当たり前のように皆が笑顔に

なり、七面鳥やケーキなど美味しい食事をし、プレゼントをし合って心から嬉しく思うひとときです。そう言うわたしも子どもの頃からこのクリスマスを楽しんで過ごしてきました。

けれども本当にそれだけでいいのだろうか、と自死遺族との出会いを通して思い始めたのです。

ルカによる福音書2章にある物語では、イエス様は誕生された直後、家畜小屋の飼い葉桶の中に眠らされた情景が描かれています。この家畜小屋の飼い葉桶という場所は、土間の上であって家畜の独特の匂いがあり衛生的にも良くありませんでした。粗末で寂しさを感じる場所です。それもこの後、当時、身分の低いとされていた羊飼いたちが飼い葉桶のイエス様を訪問します。さらには父ヨセフと母マリアは地方の村ナザレの一村民で経済的に豊かではなかったと想像します。

つまりイエス様の誕生物語には、表面的に読

むと何一つ華々しいところはなかったのです。

しかし神様はあえてこの家畜小屋の飼い葉桶をイエス様誕生の場所選ばれ、そこを喜びと祝福の場所にしようとされたのです。それは羊飼いたちの様な立場の人々にも救いがあると感じてもらうために、豊かとは言えない人々ももれなく救いに預かることができることを確信してもらうために、華々しくお祝いできない人々にも生きるために必要な力が与えられると信じてもらうためにでした。

遺族の悲しみ、悲嘆の大きさは計り知れないものです。その思いに寄り添うことの難しさを感じます。

しかし神様、イエス様はその様な心が地面に横たえてしまいそうになる人々に寄り添おうとされるのです。全ての人々がクリスマスを、イエス様の誕生を心からお祝いすることができるように。

## クリスマスに思う ― 「カルトの時代」 にあって ―

高木 総平 (宗教主事)

【ルカによる福音書 2：10～12】

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたの方のために救い主がお生まれになった。この方こそ…… (略)。

クリスマスの出来事には多くの意味があります。その中で最も意味があると思うのは、イエスがキリスト、救い主として赤ん坊としてこの世界に来られたということです。それも布にくるまれて飼い葉おけの中に寝かされていた、それがキリストとしてのしるしだと記されています。布はおむつ、おしめです。小さい弱い姿で救い主が来られたということなのです。マタイの福音書では、赤ん坊のイエスと、当時のユダヤの最高権力者、ヘロデ王が対比されて描かれています。ルカの福音書では、ユダヤの支配者ローマ帝国の皇帝アウグストゥスの勅令に動かされる若い夫婦のもとに生まれたと書かれています。どちらも強大な権力者とは正反対のそれも弱く小さな姿として描かれています。そこからクリスマスが始まりました。クリスマスになくてならない東方からの学者たちも羊飼いたち

も当時のユダヤの社会では、力ある人たちではありませんでした。そのような存在が大切にされる日でもあるのです。

今大きな問題として取り上げられている旧統一協会\*をはじめ、カルト団体の教祖は上記の

ヘロデ王、アウグストゥスにいやそれ以上の存在になろうとしていた、あるいはそのようになろうとしていると言ってよいでしょう。この世界の救世主、この世界の王となるというもので、そのために旧統一協会を筆頭にあくどい金儲けをしていますし、いかに超能力を持ち普通の人と違うかという嘘の神話を振りまいています。言い換えるとこのような組織は強いこと、大きなこと、豊かなことはいいことだという価値観に立っています。この考えは、小さな弱い存在をないがしろにし、暴力や戦争にもつながるものです。いみじくも旧統一協会では、あのイエ

スの生涯は失敗だったと強調しています。その結果、仕方なく当時の社会から疎外されていた弱者とつき合うしかなかったという聖書を曲解した話を作り上げています。

その聖書のイエスの姿は何を訴えているのでしょうか。それは小さな、弱い存在を大切にしてくださいということ。私たちの身近にもこの社会にも、この世界にも、小さな弱い存在

は限りなくあります。私たち自身もある意味では、小さな弱い存在かもしれません。クリスマス、小さな、弱いものが大切にされる日だ、改めて受け止めたいと思います。

\*正式名称からは統一協会と記すのが正しいが、自分たちこそ本当のキリスト教だと主張するために統一教会と名乗り、マスコミも追認している。

## クリスマスの思い出

竹村 忠憲 (人間福祉学部)

「11月も終わりに近い朝を思い浮かべてほしい。今から20年以上昔の、冬の到来を告げる朝のことだ。広々とした古い田舎家の、台所のことを考えてみてほしい。」

私自身にクリスマスのよい思い出は特になく、購買意欲を掻き立てるためのケーキ屋の商法ぐらいしか思いはなかった。学生時代は毎年年末商戦のために千葉県の某スーパーにて寒い中店頭販売をしていた。

ただ、冒頭の一文から始まる文章は今でも心に残っている。「クリスマスの思い出」という短編小説の出だしである。

作者のカボーティは有名なアメリカの作家だ

が、翻訳を村上春樹がしていて興味深い。

この物語からはアメリカの古き良き時代の何とも言えない哀愁と情緒を感じ取れる。欧米の文化にほぼ触れたことのない自分にとって、人が持って生まれた根源的な感覚はどこかで共通しているのではないかという思いに駆られる。ちょうどケルト地方の音楽に郷愁を感じることに似ている気がしている。

「クリスマス」という欧米人にとって特別な日の特別な思いを文化背景が全く異なる自分が身をゆだねてもよいのではないかと思うようになったのは最近のことで、冬の寒さを楽しむ余裕ができてきたのもつい最近のことでもある。

### 「2022年度 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 クリスマス献金」

# Pray for the World!!

今年も主イエス・キリストのご降誕をお祝いするクリスマスの季節がやってきました。クリスマスは、主イエス・キリストがご自身のすべてを人々の幸せのために捧げつくしたことから、私たち自身の一部を少しでも人々の幸せのために捧げ合うことを実践する季節です。

今年の献金は、国内外の災害被災地及び活動団体への支援を継続して覚えたいと思います。

皆さん、温かな思いをもってご献金ください。よろしくお願いいたします。

なお、昨年は108,255円の温かい献金をいただき、20の施設・団体、活動に献金いたしましたことをご報告いたします。

**募集期間** 2022年11月27日(日)～12月25日(日)

**献金予定先:** 大災害の被災地のために [日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室「いずみ」、災害被災地、台風15号の被災地]  
 地域の諸活動のために [野宿生活支援の会・岐阜、岐阜いのちの電話、キリストへの時間、愛知老人コミュニティセンター、あゆみの家、親隣館他]  
 世界の諸活動のために [ミンダナオ子ども図書館(フィリピン)、アハリ・アラブ病院(パレスチナ・ガザ地区)、ジョセフ記念教育基金(スリランカ)]

— 献金箱の設置場所 —

【関キャンパス】総務課カウンター・教員控室 【各務原キャンパス】事務室



2022年度 クリスマス礼拝

## 「クリスマスの危機」

日本基督教団 愛知教会 牧師 吉澤 永 先生



日 時：12月19日(月) 15：10～16：30

会 場：関キャンパス グレースホール

## ◆プロフィール

吉澤 永 (よしざわ ひさし)

1974年 牧師の家庭に生まれる。それ故に子どもの頃からいじめを受けたり、教会の内情を子どもながらに見て、家を出ると同時に、教会との縁を切ることを人生の一番の目的にする。しかし、母の交通事故をきっかけに、交通事故で頭を打ち、意識不明の母親の意識を回復させるために、「洗礼を受けて牧師になる」と大嘘をついたが、その言葉に対する母の、「ありがとう、ありがとう」の言葉によって、一転洗礼を受けて、牧師になる決断をする。

2000年3月、同志社大学神学部神学研究科博士課程前期課程修了(組織神学専攻)同年4月四国の愛媛県にある、日本キリスト教団今治教会伝道師に着任。同年に着任した主任牧師が1年で辞任したために、2年間主任担任教師代務者として奉仕。2004年～2009年同じ愛媛県の日本キリスト教団伊予小松教会牧師、付属ダビデ保育園園長に就任。着任前に園児が激減したことにより、立て直しに尽力するが、園を閉じる決断を行う。2009年から、現任の日本キリスト教団愛知教会牧師。着任3年で礼拝堂建築を実施する。2017年から、学校法人枇杷島キリスト教学園枇杷島幼稚園理事長に就任する。

趣味は食べ歩き。特技は筋トレ、空手(初段)、会計。筋トレのベスト記録は、スクワット180キロ、ベンチプレス150キロ、デットリフト220キロ。トータル550キロ。握力はベスト記録が右72キロ、左68キロ。空手は大和流二代目宗家の9段の師匠と、目つき、噛みつき、金的以外はなんでもありの組み手を重ねた。会計は日商簿記2級を持ち、「マッチョで喧嘩も数字も強い」希少種牧師として、日々牧師らしからぬ行動を誇りとしている。

## ◆クリスマス礼拝の朗読箇所

マタイによる福音書1章18～25節

みなさんは、クリスマスと言えば、「ケーキ、プレゼント、恋人との一夜」などをイメージすると思います。みなさんは、サンタさんを何歳まで信じていましたか？枕元には、靴下に入ったプレゼントをもらっていませんか？私は教会の牧師の家庭で育ちましたので、いわゆる、父親がサンタになって、自分の子どもに与えるクリスマスプレゼントをもらったことはありません。そして、私の父親は教会の牧師として、サンタさんになって、教会に来ている子ども達にプレゼントを配るのですが、父親がサンタさんの衣装に着替えている姿を幼い時から見ているので、友達が「今年のサンタさんのプレゼントは何だろうか！！」とワクワクしているのを、冷めた目で見つめ、でもその夢を壊すようなことはしない子どもでした。

聖書に書かれているオリジナルのクリスマスは、実は危機に満ちたものでありました。詳しくは当日にお話ししますが、一步間違えたら、イエス様の母マリアは、「石打の刑」という死刑に処せられる恐れがありました。それは、婚約中にイエス様の妊娠が発覚したからです。今の時代では「授かり婚」として喜ばれることですが、昔は婚約中に妊娠すれば大問題でしたし、何より、身に覚えのない子どもを宿している、妻となる予定の婚約者に対して、穏やかで居られる男性は存在しないと思います。

私たちは、何事も「自分が持つイメージ」で物事を判断します。これを「バイアス」と言いまして、私たちは実に多くの「バイアス」によって、偏ったものの見方しか出来ない性質を持っています。コロナ禍においても、実に多くの不確かな情報によって、今も大勢の人が振り回されている現実があります。大切なことは、「私たちは偏った見方をする性質を持っている」事実を知った上で、イメージと事実の間を埋める作業をすることです。今回の礼拝を通して、皆さんの持つクリスマスのイメージと、聖書が示すクリスマスの事実がどう違うのかを知って頂きたいと思っています。